

平成二十九年 度 一 般 選 抜 学 力 検 査 問 題

国 語

(一 時 間 目 六 十 分)

注 意

- 一 問題用紙と解答用紙、メモ用紙のそれぞれの決められた欄に、受検番号と氏名を記入しなさい。
- 二 問題用紙は放送による指示があるまで開いてはいけません。
- 三 問題は1ページから6ページまであります。これとは別に解答用紙とメモ用紙がそれぞれ一枚あります。
- 四 答えは、すべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号
氏名

一 「聞くこと」に関する検査

二 次の文章を読んで、1～4の問いに答えなさい。

手紙にはしばしば時候の挨拶が用いられる。例えば、^①穏やかな春の日差しが降り注ぐ頃であれば、改まった手紙の場合には、「春暖の候」のような漢語調のものを、私的な手紙の場合には、「うらかな季節となりました」のように^②率直な印象で季節を表すものを用いることが多い。おっくうがらずに手紙を書く人は、こうした時候の挨拶をよく知っている。

また、時候の挨拶は日常生活において、コミュニケーションを始めるきっかけともなる。時候の挨拶についてよく知ることは、良好な人間関係をキズいていく上で^④コウカ的であろう。

1 穏やかな^① 率直な^② の読み仮名を書きなさい。

キズいて^③ コウカ^④ を漢字に直して書きなさい。

2 しばしば が直接係る一文節を抜き書きしなさい。

3 表す と活用の種類が同じ動詞を、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

ア 計画する イ 書く ウ 来る エ 起きる

4 おっくうがらずに手紙を書く とあるが、これと同じ意味の表現を、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

ア 筆を入れる イ 筆遣い ウ 筆を折る エ 筆まめ

三 次の文章を読んで、1～4の問いに答えなさい。

四 ある学級で、国語の時間に次の文章を読み、各班で課題を決めて話し合った。後の**1**～**3**の問いに答えなさい。

五 次の【I】【II】を読んで、1～4の問いに答えなさい。

【I】

秋風引 劉禹錫

(書き下し文)

何処秋風至
蕭蕭送雁群
朝來入庭樹
孤客最先聞

何れの処よりか秋風至る
蕭蕭として雁群を送る
朝來「A」
孤客最も先に聞く

(口語訳)

秋風の歌

どこから秋風が吹いてくるのでしょうか。もの寂しげに吹いて雁の群れを送っています。今朝、庭の木々に吹き込んで枝をさらさら鳴らしていた音を、一人ぼっちの旅人である私がいち早く聞きつけたのです。

【II】

秋来ぬと目にはさやかに見えねども

(見えないが)

藤原敏行

風の音にぞおどろかれぬ

(はっとして気づかされた)

1 「A」に当てはまる書き下し文を書きなさい。

2 【I】の漢詩の形式を漢字四字で書きなさい。

3 【II】の「さやかに」の意味として最も適するものを、次の

ア エから一つ選んで記号を書きなさい。

ア 静かに イ ぼんやりと ウ わずかに エ はっきりと

4 次は、【I】【II】についての鑑賞文である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

【I】について

秋風の中を飛ぶ雁の姿を見つめている「旅人」は、今朝、秋風が木々の枝を揺らした音を真っ先に聞きつけた。「旅人」は、故郷を遠く離れて暮らす作者自身を表している。結句の「孤」と、承句の「A」を対照的に用いることで、一人で秋を迎えた作者の孤独を際立たせている。

【II】について

立秋の日(この日から秋となる日)に詠まれた和歌である。夏の名残があり、「b」ものには変化はまだ感じられないが、「c」に秋の訪れを発見した作者の感動が表れている。

【I】【II】について

新たな季節の訪れを、「d」ことが共通している。

(1) 「a」に当てはまる漢字一字を、「I」から抜き書きしなさい。

- (2) 「b」には適する語句を**五字以内**の現代語で書き、「c」には当てはまる語句を**【Ⅱ】**から**五字以内**で抜き書きしなさい。
- (3) 「d」に適する内容を、**二十五字以内**の現代語で書きなさい。

六 現在、科学技術の様々な分野で研究開発が進み、私たちの生活も大きく変化してきている。あなたが感じている科学技術の発展による生活の変化を取り上げ、それについてのあなたの考えを、次の〈条件〉にしたがって書きなさい。

〈条件〉

- 1 題名は不要
- 2 字数は二百字以上、二百五十字以内